

6月定例会 一般質問要旨



ごみ減量対策と適正な処理体制の構築について



公明クラブ 前田 純也

議員 本市において、ごみステーションに出された家庭系ごみの過去2年間の量を伺います。

産業環境部長 収集車両の台数および搬入量は、令和元年度が1万6,766台/約4万6,129ト、2年度が1万7,324台/約4万6,881トでした。



議員 最近、ごみステーションの収集時間が遅くなっている地域があるようです。ごみの収集時間の現状と、ごみステーションの数の推移について伺います。

産業環境部長 収集は午前8時30分から始まり、できるだけ早く終わるよう努めています。ごみステーションの設置数は直近3年間で379カ所増加しています。

議員 曜日ごとの収集箇所を平準化

することで時間の短縮につながると考えます。そのため、収集エリアを見直すことも有効と思いますが、所見を伺います。

産業環境部長 地区ごとのごみ収集が市民に定着していますので、収集エリアの見直しは困難と考えます。

議員 ごみの問題と、減量に向けた取り組みについて、市長の所見を伺います。

市長 ごみの減量について何度も発信してきましたが、増量が続いています。また、ごみステーションが増加し、それに伴う収集作業の苦勞も大きくなっています。ごみに関する審議会をつくり、ごみ袋の料金引き上げ等を協議して、ごみ処理に膨大な費用がかかることを市民に意識してもらう必要があるような、シビアな時代を迎えていると思います。ごみの問題はまちを衰弱させるということを、これからも発信し続ける必要があります。

■その他の質問
・都市計画の変更に伴う諸課題について



本市の文化財について —天神山古墳と上野国新田郡家跡について—



太田クラブ 大川 敬道

議員 天神山古墳東側にある公衆トイレおよび遊歩道の現状を伺います。

教育部長 古墳東側には、見学者のために設置した仮設トイレがあります。また遊歩道については、古墳東側から墳丘に至る道と、墳丘の中を散策する道があり、年2回草刈りなどを行うことで史跡の環境整備に努めています。

議員 見学者の利便性向上のため、老朽化した仮設トイレや遊歩道の整備については、史跡全体の整備に先行して実施すべきと考えますが、所見を伺います。

教育部長 文化庁の示す手順に従い、史跡の保存管理計画や整備基本構想を再検討し、公衆トイレや遊歩道の整備も含めて、取り組んでいきたいと考えています。

議員 天神山古墳と上野国新田郡家跡の史跡整備は、本市における歴史教育の生きた教材になると考えますが、教育長の所見を伺います。

教育長 本市のみならず、日本の歴史を語る上でも欠かすことのできない史跡で

あり、史跡の整備は、歴史教育を推進する上で重要であると考えます。

議員 天神山古墳には、関西地方からも見学に来る人がいます。見学に来た人に満足いただき、史跡ガイドの皆さんも自信を持って案内できるような史跡となるよう整備を進めるべきであると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 良い機会ですので、史跡ガイドの皆さんと一緒に、遊歩道や公衆トイレの設置など史跡整備の在り方について考えていければと思います。



■その他の質問
・文化財の管理・点検・保管について
・説明板の管理・点検・補修について



本市の公共事業における合意形成・意思決定・公平性について —スケートパーク建設事業及び台風被災地区の治水整備について—



立憲民主党 神谷 大輔

議員 スケートパーク建設事業の現状までの状況を伺います。

都市政策部長 建設予定地について3度の見直しを行いました。現在は整備費が抑えられ、近隣への音の影響もない八王子山公園の北広場に整備する計画です。



議員 台風被災地の治水整備事業について、今後の整備計画を伺います。

都市政策部長 今年度は冠水被害の主たる要因であったバックウォーター対策として、2基のゲートを設置するため、詳細設計を実施する予定です。

議員 スケートパーク建設事業と台風被災地の治水整備のどちらを優先課題と捉えているか、所見を伺います。

都市政策部長 どちらも重要な施策であり、双方の事業をバランスよく取り組んでいきたいと考えます。

議員 スケートパーク建設事業について、予定地が3度も変更となっており、計画性や関係機関との合意形成が欠如していると考えますが、所見を伺います。

市長 最もコストを抑えられ、効果的な立地について検討を重ねた結果として変更となったものであり、ご理解いただきたいと思ひます。

議員 双方の事業をバランスよく進めるとのことですが、公平性の観点からも治水整備が急務と考えます。被災地住民のためにも、迅速な整備が求められると考えますが、所見を伺います。

市長 台風や水害に対応するため、できるだけスピーディーに事業を進めていきたいと思ひます。

■その他の質問
・おおた鶴生田町太陽光発電事業について



本市の公共施設の利活用について —多面的な公共施設の利活用について—



創政クラブ 高藤 幸偉

議員 公共施設におけるネーミングライツの導入について所見を伺います。

総務部長 市民に分かりやすい施設名であることが大切と考えていますので、今のところ実施する予定はありませんが、引き続き研究していきたいと思ひます。

議員 環境負荷の少ない再生可能エネルギーへの転換や、市の歳入確保の観点から、民間事業者と連携し、公共施設を活用して太陽光発電を行うことが有効と考えますが、所見を伺います。



総務部長 一定の条件を満たせば行政財産の使用を許可することは可能ですが、太陽光発電設備については行政が整備することが望ましいと考えています。また、

歳入の確保については、未利用地等の売却を積極的に進めていきたいと思ひます。

議員 公共施設は本来の目的のみならず、太陽光発電設備や雨水貯留施設の設置等により、財源の確保や防災・減災等の多目的機能を発揮することが期待されます。市民サービスの向上や、効果的な行政経営にも貢献できると考えますが、公共施設に多面的な要素を持たせる活用方法について市長の所見を伺います。

市長 議員と同じように、公共施設を利用して災害を防ぐことを考えています。例えば、東本町児童公園は周辺の冠水を防ぐため、地下に雨水貯留施設を設置してあります。これからも同じように、公園等を活用した水害の防止等を検討していきたいと思ひます。

■その他の質問
・太田市運動公園市民体育館の今後について
・学校での水泳指導と市民プールについて